



北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信 Vol. 127

2019/10/24 発行

第127回 ほほえみ 開催

10月16日(水)第127回 ほほえみを開催しました。
今回は9名の方が参加してくれました。



【がんサロン事務局より】

次回のほほえみは、11/20(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

『がんになって、よかった』

(がん体験記)

私がかんになって治療を始めて間もない頃、「がんになって、よかった」という人がいた。

「え? がんになって、よかった? いいわけないじゃん。だって、死ぬかもしれないだよ。治療だってこんなにつらい。いくつもの犠牲も払った。諦めなければならぬこともたくさんあった。これからどう生きていいのか先も見えない。不安しかない」

そんなふうにした。

でも、治療が進むうちに現状を受け入れられるようになってくると、「がんになって、よかった」と、言っていた人の気持ちがわかるようになった。

それは、がん気づかされたことがたくさんあったから。

それまで当たり前で過ごしていた日常は、当たり前なことではなかったこと。平凡であることや普通であることに不満を抱いていたことも、本当はそれが幸せなことにも気づいた。

そしてそこにあったのは、“普通でも平凡でも元気に生きていられること、ごはんが食べられること、笑って楽しく過ごせることへの感謝の思い”だった。

本当は、がんになんてならない方がいい。

本当は、がんにならずに気づかなければならぬことなのかもしれない。

でも人は、こんな病気にでもならなければ、気づけないものなのかもしれない。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)